

## 議 事 録

件 名	令和2年度 第1回松本市文化芸術振興審議会		
日 時	令和2年8月4日(火) 15:30~17:00	場 所	市役所東庁舎4階 第二委員会室
出席者	松本市文化芸術審議会委員(6名) 事務局 村山文化スポーツ部長 石川文化振興課長、小笠原補佐、飯濱主事		

### 1 結 果

#### (1) 松本市文化芸術推進基本計画の策定について

- ・ 計画期間は10年とする。
- ・ 目標は目的を達成するための具体的な指標とする。
- ・ 文化芸術の基本的施策は子どもたちへの取り組みに重点を置く。
- ・ 文化芸術がライフワークとなるようにする。

#### ア 主な意見等

- ・ 改訂するからには、市民にとってプラスになるようにしたい。
- ・ 文化は連続性が大切である。市長が変わっても大きく政策は変わらないはず。
- ・ 子どもたちにどう文化を伝えるか議論が必要である。
- ・ コロナ禍をきっかけにして、文化芸術の在り方を見直す必要がある。
- ・ OMF やまつもと大歌舞伎よりも市民にとっては、地元の祭りのほうが重要である。
- ・ 幼児から楽器を手で触ったり、演奏したりする体験が必要である。
- ・ 美術館友の会など活動者の高齢化が進んでいるため、若年層の参加を促す施策が必要と考える。
- ・ 誰もが平等に文化芸術を親しめるようにするのであるならば、無料で鑑賞や体験ができるような施策が必要となる